

沖冠  
嶺著

十八史略譯解

八上

特31

732

館經書會育教本日大			
室		第	
一	五		二
二	四	五	九
冊	號	架	函

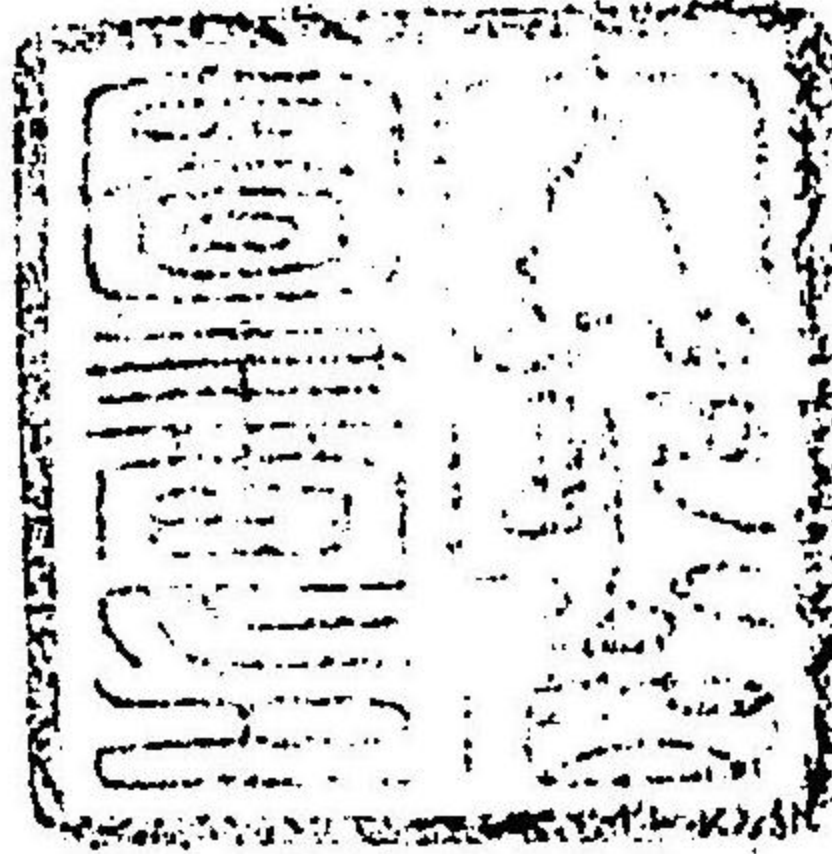
共十二冊  
十五

王佺王对文順宗ニ  
娛侍スル圖



沖冠嶺著十八史略譯解卷之八上

東京 冠嶺沖正脩編輯



異日之レヲ用ン<sub>テ</sub>幸<sub>フ</sub>、密ニ學士  
 執<sub>シ</sub>詔<sub>キ</sub>、及<sub>ビ</sub>朝士ノ有名ニ<sub>シ</sub>、速<sub>ニ</sub>進<sub>シ</sub>ヲ  
 俱ニ出入<sub>ノ</sub>娛侍<sub>ス</sub>、目<sub>テ</sub>言  
 者王佺、棋<sub>ヲ</sub>善<sub>ス</sub>ル者王  
 ハ誦<sub>テ</sub>太子タリシ時ニ方<sub>テ</sub>  
 頃宗<sub>ノ</sub>

卷  
頁

一ノ史略譯解卷之八上 順宗

一

〔死交〕勿到ノ交  
ト同シ  
〔端倪〕端ハ、緒ナ  
リ、倪ハ、畔ナリ、  
一ノ説、端ハ山ノ  
巔ナリ、倪ハ山ノ  
同シ、水ノ畔ナ  
リ、  
〔追〕追テ之ヲ召  
スナリ

求ムル者ニ結フ、陸淳、呂温、李景儉、韓  
曄、韓泰、陳諫、柳宗元、劉禹錫等定テ死  
交ト為ル、日々与ニ游處ス、蹤跡詭秘  
ニシ、其ノ端倪ヲ知ル者ナシ、德宗崩  
ス、太子位ニ即ク、是ヨリ先キ、風疾ア  
リ、培ヲ失ス、五夕七月ヲ闕ス、伍、荆文  
等事ヲ用ユ、○陸贄、陽城ヲ追テ京ニ  
赴カシム、未夕至ラスノ卒ス、○上、在  
位改元ノ永貞ト曰フ、僅ニ八月、自ラ  
太上皇ト稱ス、位ヲ太子ニ傳フ、是ヲ  
憲宗皇帝ト為ス

〔眞〕眞云々  
開州ノ司馬ニ  
州文ヲ渝州ノ  
司馬ヲ韓泰ヲ  
撫州ノ刺史ヲ  
韓曄ヲ饒州ノ  
刺史ヲ柳宗元  
刺史ヲ、柳宗  
刺史ヲ錫ヲ連  
州、劉禹錫ヲ  
司馬ニ、陳諫  
台州ノ司馬ヲ  
敗ス、餘ハ未  
考フ

〔憲宗皇帝〕名ハ純、年二十八、太子ト為ツ

テ監國タリ、尋テ位ニ即ク、王伍、王封  
文ヲ貶ス、伍、病ヲ死ス、姪文、死ヲ賜フ、  
其黨皆ナ遠ク貶セラレ、○元和元年、  
西川ノ節度使劉闢反ス、〔西川〕縣ノ名、  
同平章事杜黃裳、高崇文ヲ薦テ之ヲ  
討セシム、○夏州留後楊惠琳、朝命ヲ  
拒ム、兵馬使ノ為シ、斬ラル、綱目ニ  
兵馬使張承金、惠琳ヲ○高崇文、成都  
斬リ、首ヲ京師ニ傳フ、○高崇文、成都  
ニ克ツ、劉闢ヲ擒ニス、京師ニ送リ之  
ヲ斬ル、○二年、鎮海ノ節度使李錡反

〔兵馬使〕其下張子良、李奉仙、田少卿等、沙陀朱和、盡忠、西突厥、ヨリ出、後自号、沙陀、曰、志、名、一、説、沙陀、大、積、南、浦、類、海、東、在、西、鶴、本、純、二、作、德、宗、鶻、時、請、改、鶻、鷲、鳥、ナリ、其、鷹、揚、ノ、義、ニ、取、ル

〔鎮海〕執州、号、鎮、詔、之、討、ス、兵、馬、使、騎、ヲ、執、フ、京、師、ニ、送、リ、之、ヲ、斬、ル、○三年、沙陀、朱、邪、盡、忠、其、子、執、宜、ト、来、降、ス、沙陀、勤、勇、ナリ、諸、胡、ニ、冠、タリ、吐蕃、戰、コト、ニ、以、テ、前、鋒、ト、為、ス、後、其、ノ、回、鶻、ニ、貳、アル、ヲ、疑、ヒ、之、ヲ、河、外、ニ、遷、サ、シ、ト、欲、ス、懼、テ、唐、ニ、帰、ス、之、ヲ、盧、州、ニ、置、ク、用、イ、テ、以、テ、征、討、ス、皆、捷、ツ、○杜、黃、裳、ヨリ、以、後、相、繼、テ、相、ト、為、ル、者、武、元、衡、李、吉、甫、裴、垣、李、蕃、李、絳、皆、賢、相、ナリ、垣、嘗、テ、李、吉、甫、ト、為、ノ、ニ、人、才、ヲ

〔翁然〕云々、當、時、翁、然、ト、云、フ、吉、甫、得、ヲ、稱、メ、人、ヲ、得、タリ、ト、為、ス、之、ヲ、批、ス、直、ニ、黄、紙、ノ、批、ス、後、ニ、批、寫、ス、テ、不、可、ヲ、批、寫、ス、〔素紙〕謂、ハ、別、ニ、白、紙、ヲ、用、ビ、之、ヲ、書、ク、ノ、救、ノ、後、君、ノ、意、未、タ、萌、ニ、サ、シ、意、未、タ、而、シ、之、ヲ、先、導、ク、ヲ、以、テ、迎、ト、曰、フ、絳、カ、言、ス、以、テ、直、ト、為

疏、ス、ル、三、十、餘、人、數、月、ニ、用、盡、ス、翁、然、ト、稱、メ、人、ヲ、得、タリ、ト、為、ス、垣、器、局、峻、整、ナリ、入、々、取、テ、干、ス、ニ、私、ヲ、以、テ、セ、ス、蕃、嘗、テ、給、事、中、ト、為、ル、制、救、不、可、ナル、者、ア、レ、ハ、即、チ、之、ヲ、批、ス、吏、吏、テ、素、紙、ヲ、連、シ、ト、請、フ、蕃、カ、曰、ク、此、ノ、知、ン、ハ、則、チ、状、ナリ、何、ソ、批、救、ト、名、ツ、ケ、ン、ト、垣、之、ヲ、薦、テ、相、ト、為、ス、知、テ、言、ハ、サル、ナシ、絳、鯁、直、ナリ、吉、甫、善、ク、逢、迎、ス、絳、与、ニ、上、ノ、前、ニ、爭、論、ス、ル、コト、ニ、上、多、ク、絳、ヲ、直、ト、ス、時、ニ、在、朝、ノ、崔、郡

謹直ナリ奉貢節  
初ノ魏博ノ節  
度使田季安薨  
ス其子懐諫幼  
弱ナリ軍政家  
僮ニ決ス衆皆  
忿怒ノ興ヲ推  
ノ由後ト為ス  
興免レサルヲ  
度テ乃チ衆ニ  
謂テ曰ク副大  
使ヲ犯スナカ  
レ朝廷ノ法令  
ヲ守リ版籍ヲ  
申シ官吏ヲ請  
テ然後可ナリ  
ト然後可ナリ  
ト申ハク請ト  
○申ハク請ト  
版籍ハ戸口與  
地ヲ収ルユハ  
ノナリ強強梗  
疾ノ良強梁梗

居易等カ如キ、皆讒々トシ直シ、元  
和ノ世、朝廷ノ清明ナル、此ヲ以テナ  
リ○七年、魏博ノ兵馬使田興、吏ヲ請  
ヒ奉貢ス、詔ノ以テ節度使ト為ス、裴  
度ヲ遣テ宣慰ス、錢百五十万緡ヲ賜  
テ、其軍ヲ犒フ、六州ノ百姓、皆給復ス  
ル、一年六州魏博軍賜ヲ受ク、歡聲雷  
ノ如シ、成徳兗鄆ノ諸鎮ノ使者、之レ  
ヲ見テ相顧ミ色ヲ失ス鄆州山東  
州歎ノ曰ク、強ナル者果ノ何ノ益  
ソヤト、興ニ名ヲ弘正ト賜フ○初ノ

庚ニノ柔服ヲ  
サレテ言フナ  
リ亡命逃亡ノ  
人ナリ東畿京  
畿ノ東

彰義ノ節度使吳少誠死ス、弟少陽自  
ラ軍府ヲ領ス彰義淮南、彰少陽陰ニ  
亡命ヲ養フ、少陽死ス、子元濟自ラ軍  
府ヲ領ス、兵ヲ縱テ侵掠シ、東畿ニ及  
ブ、詔ノ十六道ノ兵ヲ發メ、之ヲ討ス  
下六道、登、蹄、載、スル、所、口、河、東、魏、博、  
邵、陽、朔、方、義、成、陝、益、鳳、翔、延、慶、宜、武、淮  
南、宣、歙、浙、西、十、二、道、二、抵、以、云、所、口  
平、廬、ノ、節、度、使、李、師、道、元、濟、ヲ、赦、サ、ン  
ト、請、フ、許、サ、ス、裴、度、淮、西、ノ、行、營、ヲ、宣  
慰ス、還テ言フ、淮西決ノ取ル可シト、  
上、悉ク兵事ヲ以テ同平章事武元衡

暗ニ之ヲ射殺スル時未  
明ケス故ニ  
賊暗ニ乘ノ之  
ヲ射殺ス  
鵞鴨池ニ  
アリ、令ヲ下ソ  
之ヲ撃テ、以テ  
軍色ヲ同混メ、  
敵ヲシタルヲサ  
ラシムルナリ  
牙城古ハ、軍行  
ニ在ル所、後  
ノ在ル所、後  
人曰テ所治ヲ  
以テ、衙ト為ス  
牙城ト曰フ者  
即テ衙城ナリ  
一説、凡ソ大城  
之レヲ羅城ト  
謂フ、小城之レ

ニ委ス、師道、素ヨリ刺客、姦人ヲ養ス、  
客請フ密ニ往テ元衡ヲ刺ハ、則チ他  
ノ相ハ必ス争テ天子ニ勸テ、兵ヲ罷  
シト、元衡入朝ス、賊暗ニ之ヲ射殺ス、  
又度ヲ撃テ首ヲ傷ツク、上怒ル、賊ヲ  
討スル愈急ナリ、度ヲ以テ同平章事  
トス、上ノ曰ク、吾度一人ニ倚テ賊ヲ  
破ルニ足レリト、度ニ命ソ彰義ノ節  
度使ヲ兼シム、淮西ノ宣慰招討使ニ  
充ツ、諸軍ヲ督メ進討ス、唐鄧ノ節度  
使李愬唐鄧二州、皆河南ニ先ツ賊ノ

又子城ト謂フ、  
又第ニテ、以テ重  
アツテ、以テ重  
度使ノ居宅ヲ節  
ト衛之ヲ牙城

將丁士良、吳秀琳、李祐ヲ擒ニス、釋メ  
之ヲ用ニ、祐カ計ヲ用テ雪夜ニ七十  
里、兵ヲ引テ蔡州城ニ入ル蔡州河南  
南、汝鵞鴨池ヲ撃テ、軍色ヲ渾ス、鷄鳴  
ニ入テ元濟カ外宅ニ據ル、元濟、牙城  
ニ登テ拒戦ス、已テニノ擒ニ就ク、檻  
メ京師ニ送ル、之ヲ斬ル、叛ヨリ誅ニ  
及フ、凡テ兵ヲ用ルニ歳時ニ元和十  
二年ナリ、淮西、既ニ平ク、上、浸驕侈ナ  
リ、是ヨリ先キニ歳、已テニ李逢吉ヲ  
用テ同平章事トス、十三年ニ至テ、又

李愬鷄鳴ニ入テ元濟カ  
外宅ニ執ルル圖



度支使皇甫鏞ヲ用ユ、鹽鐵使程异、羨  
 餘ヲ進ム、寵アリ、並ニ同平章事タリ、  
 朝野駭愕ス、元和ノ政非ナリ○十四  
 年、鳳翔ノ法門寺ノ塔ノ佛ノ指骨ヲ  
 迎テ、京師ニ至ラシメテ禁中ニ留ム  
 ヲ三日、諸寺ニ歴送ス、王公士民瞻奉  
 捨施シ、惟及ハサルヲ恐ル、侍郎韓愈  
 上表極諫ス、乞テ以テ之ヲ水火ニ投  
 セ、ト、上怒ル、潮州ノ刺史ニ貶ス、  
 廣東ニ平盧ノ將李師道ヲ執ヘ斬  
 屬ス、  
 〔將〕李師道ノ下、都○裴度罷ム直  
 以言

〔羨餘〕賦外ノ餘  
物

〔元和〕即位ノ二  
年ニ改元

テ、皇甫鏞ノ黨ノ為ニ陰ニ之ヲ擠  
 セラレ、度ニ部ソ、平章事ヲ以テ河東  
 ノ節度使○十五年、上暴ニ崩ス、上、金  
 丹ヲ服シ、躁怒多シ、左右宦官、罪ヲ獲  
 テ死スル者アリ、人々自危ム、宦者陳  
 弘志、弒逆ス、其黨之ヲ諱テ、但藥發ト  
 言フ、在位十六年、改元スル者一ツ、曰  
 ク元和、太子立ツ、是ヲ穆宗皇帝ト為  
 ス  
 〔穆宗皇帝〕名恒、位ニ即キ、改元ノ長慶ト  
 曰ク、四年ニ崩ス、太子立ツ、是ヲ敬宗  
 皇帝ト為ス

〔丹宸〕唐文粹云々全見ユ  
〔宸〕亦亦舖、宸ト間曰ナ  
リ、其制、屏風ニ見  
ヘク、書傳ニ見  
テ朝ヲリ、〔宵衣〕以  
以テ朝ヲ視ル稀  
異テヲ服制ノ正服  
以テヲ玩好ヲ〔罷獻〕  
〔納誨〕以テヲ讜言ス  
ヲ侮棄スレテ讜言ス  
群小ヲ諷シ、〔防微〕  
以テ幸シク出  
テ遊幸スルク出  
ノ諷ニ〔室〕即元位

〔敬宗皇帝〕名ハ湛、位ニ即キ、荒淫ナリ、嬖  
倖事ヲ用ユ○李徳裕、丹宸ノ六歳ヲ  
獻ス、一ニ曰ク、宵衣、二ニ曰ク、正服、三  
ニ曰ク、罷獻、四ニ曰ク、納誨、五ニ曰ク、  
辨邪、六ニ曰ク、防微○上、游戲度ナシ、  
性復、臨急ナリ、宦官動スレハ挫捷セ  
ラル、皆ナ怨ム、夜獵ノ還宮ニ酒酣ナ  
ルトキ、宦者劉克明カ為ソニ弒セラ  
ル、在位三年、改元スル者一ツ、曰ク、寶  
曆、江王立ツ、是ヲ文宗皇帝ト為ス  
〔文宗皇帝〕名ハ涵、穆宗ノ子ナリ、敬宗  
弟、宦官

〔策〕唐士ヲ取ル制ニ由  
アリ、州縣ニ由  
曰ク、皆有司ニ由  
升ケ、而ノ並ニ  
之ヲ選ス、其天  
子自ラ詔ス、曰  
者、非常ノ才ヲ  
待スルニ、才ヲ  
ナリ、〔考〕馬宿  
等物論ヲナリ、〔宿〕  
ト稱ス、言ハ、〔考〕  
官ノ為ソニ、〔考〕  
屈セ、〔考〕  
〔顔厚〕頌ニ、〔考〕  
ヲ知ラ、〔考〕  
リ上疏ソ云々ナ

者王守澄ノ為ニ立テラル、後改テ昂  
ト名ツク、太和二年、親ラ策ノ人ヲ制  
舉ス、宦者益横ナリ、天子ヲ建置スル、  
其ノ掌握ニ在リ、權人主ノ右ニ出ツ、  
人敢テ言フナシ、賢良方正、劉蕡對策  
ノ之ヲ極言ス、考官皆歎服ス、而天中  
官ヲ畏テ敢テ取ラス、第ニ中ル者裴  
休、李邵、杜牧、崔慎由等二十二人、皆官  
ニ除ス、物論置然トソ屈ト稱ス、邵カ  
曰ク、劉蕡下第シ、我輩登科ス、能ク願  
厚ナル無ランヤト、上疏ソ投レ、評ノ



回ハ、回移ナリ、  
受ル所ノ官ヲ  
回ラシ、黃ニ授  
ク、以テ其直ヲ  
荏サント乞フ

官ヲ黃ニ回サント乞フ、報セス○太  
和五年、上、同平章事宋申錫ト宦官ヲ  
誅セント謀ル、克ハス、申錫、貶死セラ  
ル初、ノ文宗、申錫ト宦官ヲ誅セン  
スヲ以テ、而ノ京兆尹、王璠、其謀ヲ泄  
之ヲ申錫奏立ヲ謀ルト告知シム、上、  
司馬ニ信ス、遂ニ申錫ヲ開州ノ○九年、  
上、李訓、鄭注等ト宦官ヲ誅セント謀  
ル、克ハス、注ハ本ト宦官者王守澄カ引  
ク所ナリ、訓、本ノ名ハ仲言、又注カ為  
ソニ引カル、守澄ヲ見ルヲ得タリ、守  
澄、上ニ薦ム、侂儻ニノ氣ヲ尚ス、文辞

中使李好古

辨ロアリ、權教多ト、上、之ヲ悅フ、訓注、  
上ノ意ヲ揣リ知テ、教微言ヲ以テ上  
ヲ動ス、上、其大事ヲ謀ル、可キヲ意ヒ、  
誠ヲ以テ之ニ告ク、訓注、遂ニ宦官ヲ  
誅スルヲ以テス、訓、既ニ注ト勢位俱  
ニ盛ナリ、頗ル注ヲ忌ム、託スルニ中  
外勢ヲ協スルヲ以テシ、注ヲ出ノ鳳  
翔ヲ鎮セシム、宦者仇士良ヲ進メ、擢  
テ、以テ王守澄ノ權ヲ分ツ、訓、同平  
章事タリ、守澄ヲ除ント請フ、中使ヲ  
ソ之ヲ鳩殺セシム、注、始メ訓ト謀テ

金吾ノ衛士官者ヲ  
死傷スル圖



鎮ニ至ル、壯士數百ヲノ入テ守澄カ  
 茨ヲ護ヒシノ、仍テ請ヒ内臣クノ盡  
 ク送ラシメ、然ノ後ニ之ヲ殺サハ遺  
 類ナケント、訓心ニ以テ為ク此ノ如ク  
 ナラハ、則チ功專ラ注ニ歸セシト、乃  
 チ謀ル、先ツ發セント、人ヲノ奏シム、  
 金吾廳事ノ後ノ石榑ニ甘露アリト、  
 宰相、百官ヲ帥テ拜賀ス、後、上ヲ勸メ  
 テ往テ觀セシム、上、宰相ヲノ先ツ往  
 テ視セシム、訓、陽リ言ク、真ニ非スト  
 上、仇士良ヲ顧テ諸官ノ宦ヲ帥テ、往

鎮ニ至ル、風幕ヲ  
 人ヲ告ク、變  
 生スルアルヲ  
 告ク、陽リ言フ  
 訓、非ト、李訓  
 韓約ト共ニ謀  
 リ、詐テ甘露  
 為ス、而凡自  
 真端ニ非スト  
 言フ、ハ、宦官  
 ノ盡ク、金吾ニ  
 往テ、覆視セシ  
 テ、之ヲ伏兵ニ  
 ト欲ス、徳宗ナ  
 神策兵ノ羽林  
 時、左右ノ神策  
 フ介テ、北司官  
 ト為ス、北司目

テ視セシム、士良等、既ニ至ル、風幕ヲ  
 吹キ起シ、兵ヲ執ル者、無数ナルヲ見  
 ル、驚キ走テ、變ヲ告ク、訓、金吾衛士等  
 ヲ呼テ、殿ニ上ス、僅ニ撃テ、宦者十餘  
 人ヲ死傷ス、事ノ濟ラサルヲ知テ、走  
 ル、士良等、神策兵ニ命メ、金吾ノ吏卒  
 ヲ殺シ、宰相王涯、賈餗、舒元興等ヲ執  
 テ、誣ルニ謀反ヲ以テシ、之ヲ腰斬ス、訓  
 ノ謀、惟元興ノミ之ヲ知ル、他ノ相ハ  
 實ニ知ラサルナリ、是ヨリ天下ノ事、  
 皆北司ニ決ス、宰相ハ、文書ヲ行フノ

〔李訓人ノ為〕  
 時、涯等既死、  
 ス、訓、鳳翔、  
 為、盤、屋、  
 官者、張仲青、  
 司徒、中書、  
 二、官、名、晉、  
 八、國、公、  
 〔聖〕東都、  
 〔四朝〕憲宗、  
 敬宗、文宗、

之、李訓、人ノ為ニ殺サル、首ヲ傳フ  
 鄭注モ亦鳳翔ノ監軍ノ官者ノ為ノ  
 二殺サル○開成三年、司徒、中書、  
 公、裴度卒ス、度、憲宗ノ時、相ヲ罷テヨ  
 リ後、世事ニ意ナシ、園池ヲ治ム、緑野  
 堂、子午橋等ノ別墅ノ勝アリ、詩人ト  
 觴詠ノ自ラ娛ム、穆宗、敬宗ノ時、皆嘗  
 テ一ト入テ政ヲ輔ク、上ノ世ニ至テ、  
 亦嘗テ平章軍國重事タリ、時ト浮沈  
 スルノミ、然ルニ四朝ノ將相、威望遠ク  
 四夷ニ遠ク、唐ノ使ヲ見レハ、輒

〔寺〕釋名ニ曰ク、  
 寺ハ祠者、其内  
 ヲ相トシ、祠、  
 問、ナリ、宰相ニ  
 治、其尸位、  
 興、太平象ナキ、  
 云々、僧儒、  
 為、詛、  
 亦、一、  
 キ、  
 帝、  
 帝、  
 帝、

ナ度カ安否ヲ問フ、身ヲ以テ國家ノ  
 輕重ニ繫ル、郭子儀カ如キ者二十餘  
 年○五年、上崩ス、上、即位ノ初ノ精ヲ  
 勵シ、治ヲ求メ、奢ヲ去リ、儉ニ從フ、中  
 外翕然トシ、太平冀フ可シト謂フ、然  
 氏、官寺ニ制セラレテ、竟ニ為ルアル  
 能ハス、嘗テ宰相ニ問フ、何ノ時カ太  
 平ナラント、牛僧儒、  
 シト云フヲ以テス、末年ニ嘗テ近臣  
 ニ問フ、朕、周赧、漢獻ニ何如シヤト、  
 對ル者憮然タリ、上ノ曰ク、赧、獻、制

家奴（天）官者（和）即位ノ謂  
 二年（仇）士良（告）  
 甫（憲）宗ノ元（和）  
 三年（初）ノ賢（良）  
 方（心）ヲ試（ム）宗  
 閔（當）路（ヲ）痛（ム）詆  
 不（時）政（ヲ）指（シ）陳  
 吉（甫）時（ニ）相（位）  
 二（居）テ之（ヲ）相（位）  
 三（注）テ帝（ニ）許  
 且（ツ）言（ク）翰  
 林（ノ）覆（策）異（同）  
 ス（ル）好（ナ）シト  
 之（ヲ）久（シ）調（ハ）  
 ス（遂）ニ与（ニ）怨  
 フ（為）ス（宗）閔（ノ）  
 構（賤）ス（穆）宗（ノ）  
 長（慶）元（年）錢（宗）徽  
 貢（舉）元（年）錢（宗）徽

強臣ニ受ク、今朕制ヲ家奴ニ受ク、殆  
 ト如カサルナリト、在位十五年、改元  
 スル者、ニツ、曰ク、太和、開成、弟穎王立  
 ツ、是ヲ武宗皇帝ト為ス  
 武宗皇帝名ハ瀍、穆宗ノ子ナリ、文宗嘗  
 テ敬宗ノ子成美ヲ立テ、太子ト為  
 ス、崩スルニ臨テ、成美ヲ以テ、國ヲ監  
 セシメ、シノント欲ス、官者以為ク、立ツ已  
 レニ由ラスト、之ヲ廢シ、瀍ヲ立テ、  
 太子ト為ス、遂ニ成美ヲ殺シ、位ニ即  
 ク、後ニ名ヲ炎ト改ム、李德裕ヲ以テ

閔（時）ニ中書令  
 人（ト）為（レ）而  
 所（親）裕（遂）ニ微  
 ス（カ）巧（ヲ）納（レ）テ  
 士（カ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 帝（ノ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 州（ノ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 閔（文）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 史（ノ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 輪（ノ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 又（ニ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 遂（ニ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 閔（先）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 出（テ）乃（チ）取（テ）白（ス）  
 使（ト）乃（チ）取（テ）白（ス）

同平章事トス、德裕、穆宗ノ初ニ在テ、  
 學士ト為ル、李宗閔ト云フ者、嘗テ制  
 兼ニ對シ、其父吉甫ヲ譏切スルヲ以  
 テ、宗閔ヲ構賤ス、是ヨリ各用黨ヲ分  
 テ、更相排軋スル者四十年ニ垂トス、  
 文宗ノ時ニ在テ、德裕、侍郎ト為ル、裴  
 度、其相トス可キヲ薦ム、宗閔、宦官ノ  
 助アツテ遂ニ相タリ、德裕カ已レニ  
 逼レテ惡テ、之ヲ出ス、且ツ牛僧儒ヲ  
 引テ、並ニ相トス、相與ニ德裕カ黨ヲ  
 排擯ス、尋テ德裕ヲ以テ西川ヲ鎮セ

維州ヲ以テ云々時ニ牛僧孺  
 中ニ居テ事ヲ  
 用ニ徳裕カ功  
 フ沮レト欲ス  
 故ニ維州及ヒ  
 悉恒謀ヲ吐蕃  
 本返ス維州ハ  
 本ト漢ノ地ニ  
 入ルヲ要路ニ  
 テ罷ム通鑑ニ  
 西川ノ監軍王  
 踐言ヲ入テ拒  
 悉恒謀ヲ縛送  
 悉恒謀ヲ縛送  
 ノ以テ降ヲ絶  
 非計ヲ悔ト僧  
 宗之ヲ悔ト僧  
 孺カ失策ヲ自  
 ム僧孺内自ラ

シム、徳裕、籌邊樓ヲ作テ、蜀ノ地形ヲ  
 圖ス、南ノ方南詔ニ入ル〔籌邊樓〕成都  
 〔南詔〕國、南西ノ方吐蕃ニ連ス、日ニ軍  
 夷ニアルリ邊事ニ習フ者ヲ召シテ、訪  
 旅ニ老ケ、遠事ニ習フ者ヲ召シテ、訪  
 フニ險易遠近ヲ以テス、皆身歴ルカ  
 若シ、士卒ヲ練シ、堡障ヲ葺シ、以テ邊  
 二備フ、吐蕃ノ將悉恒謀、維州ヲ以テ  
 來降ス〔維州〕四川ニ屬維州ハ、本ト漢  
 ノ地、兵ヲ入ルノ路ナリ、吐蕃之ヲ得  
 テ、号ノ無憂城ト為ス、徳裕、極テ此ノ  
 州ヲ得ルヲ以テ、便ト為ス、牛僧孺、以

安ヤス、表請  
 相ヲ罷ム、之ニ  
 從フ〔又罷ム〕李  
 訓、鄭法、事ヲ用  
 二、徳裕ヲ疾ミ  
 共ニ之ヲ嘗短  
 ス、復タ宗関ヲ  
 召シ、乃テ徳裕  
 ヲ罷ム

テ納ル可ラサルト為ス、城ト叛將ト  
 ヲ以テ帰ヘス、吐蕃之ヲ境上ニ誅ス、  
 極テ慘酷ナリ、牛李ノ怨、是ヨリ愈深  
 シ、僧孺、尋テ罷ム、徳裕、入テ相タリ、宗  
 関モ亦罷ム、徳裕、既ニ相トノ入テ謝  
 朋黨人ヲタリテ、文宗ノヤト、曰ク、朝  
 黨人ヲタリテ、文宗ノヤト、曰ク、朝  
 請ヒ出テ、刺ク、史ト勉ト為スト、徳裕、目  
 トス、宗関ノ刺ク、史ト勉ト為スト、徳裕、目  
 客ヲ弟ニ詳見ルニ、徳裕、外ニ居ル、黨ヲ  
 二臣未タ嘗テ、美官ヲ行中書ト号ス、故  
 之ヲ質メ、宗関、沮テ、對ルヲ得ス、俄ニ出  
 何ソ、宗関、沮テ、對ルヲ得ス、俄ニ出  
 山南西道ノ節、宗関、再ヒ相タリ、徳裕  
 度使ト為ル、節、宗関、再ヒ相タリ、徳裕

〔褒贈〕詔ノ追  
但謀ニ右衛將  
軍ヲ贈ル三鎮  
成德ノ節度王  
元達魏博ノ節  
度何弘敬、幽州  
節度張仲武

又罷ム、二黨互ニ相々擠援ス、文宗、每  
ニ歎ノ曰ク、河北ノ賊ヲ去ルハ易ク、  
朝廷ノ朋黨ヲ去ルハ難シト、德裕、連  
ニ貶黜セラル、上ノ立ニ及テ、德裕ヲ  
召ソ之ヲ相トス、德裕、上ニ言テ曰ク、  
正入ハ邪人ヲ指テ、邪ト為ス、邪人モ  
亦正人ヲ指テ、邪ト為ス、人主ノ之ヲ  
辨スルニ在リト、上、嘉納ス、德裕、維州  
ノ事ヲ追論ス、悉但謀、褒贈ヲ加フ○  
昭儀ノ節度使劉從諫卒ス、姪、自ラ  
軍府ヲ領ス〔昭儀節度〕澤潞、号ノ德裕

〔鎮魏〕鎮ハ成德  
ノ節度ヲ謂ス  
魏ハ魏博ノ節  
度ヲ謂フ  
子孫ノ謀ヲ敢  
朝命ヲ受ケテ  
ノ自ラ土地ヲ  
以テ子孫ニ傳

謂フ澤潞ノ事、河朔三鎮ト同シカ  
ラズ〔澤潞〕ニ州、皆山河朔ハ、乱ニ習フ  
已テニ久シ、累朝之ヲ度外ニ置ク、澤  
潞ハ近ク心腹ニ在リ、若シ又回テ之  
ヲ授ケハ威令復諸鎮ニ行ハレズト、  
上問フ、何ヲ以テ力之ヲ制セント、曰  
ク、積カ膨ム所ノ者ハ三鎮ナリ、但鎮  
魏之ト同カラサルヲ得ハ、積ハ能ク  
為スナケンナリト、重臣ヲ遣シ鎮魏  
ヲ諭メ、之ヲ討ツ、詔ノ曰ク、澤潞ノ一  
鎮、卿力事体ト同カラス、子孫ノ謀ヲ

輔車相依ノ類ノ輔牙  
 謂ナリ、輔車ノ輔  
 詩傳曰、杖ヲ車ヲ  
 縛ノ、以テ車ヲ  
 防輔ス、ナリ、都  
 將亦都頭ト曰、猶  
 フ都校ト曰、カコ  
 トキナリ  
 節度使ヲ逐フ  
 州奪ル、柳子列  
 其地ニ柳樹ヲ  
 列植ス、柳ニ目  
 テ名ツク、曳ク  
 光、明、甲、裕、ク  
 云々、詐リ言フ、  
 戰、平、甚、タ、衆、  
 脅、ス、以テ、德、裕、  
 脅、ス、光、明、甲、  
 ル、唐、六、典、ニ、明、

為ノ、輔車ノ勢ヲ存セシムルナカレ  
 ト、鎮魏、悚息シ、命ヲ聽ク、二鎮ノ兵ト  
 朝廷ノ遣ル所ノ行營ノ將王宰、石雄  
 ト各進討ス。○河東ノ都將楊弁、乱  
 作ス、節度使ヲ逐フ、中使馬元實ヲノ  
 曉諭シ、且ツ之ヲ規ハシム、元實、賂ヲ  
 受テ還ル、衆中ニ於テ、大言ス、相公須  
 ク早く之ニ節ヲ与フベシ、牙門ヨリ  
 柳子列ニ至ル、十五里ニ地ニ光明甲  
 フ曳ク、之ヲ若何ソ、之ヲ取ラント、德  
 裕、之ヲ詰ル、辞屈ス、奏ス、徵賊決メ怒

光甲ハ、鏡甲ナ  
 リ、德裕、之ヲ詰  
 ヲ、李石、太原ノ  
 兵ナキヲ以テ、  
 故ニ、庫中ノ卒ヲ  
 調ス、庫中ノ卒ヲ  
 盡ク、行營ニ送  
 ヲ、弁何ソ能ク  
 遷ニ、卒ヲ十五  
 里ニ、列セシム  
 ト、應ス、之ニ皆  
 募リ、置ク者ヲ  
 以テ、募リ置ク  
 久、募リ置クハ、  
 當ニ、財ヲ置ク  
 一、之ヲ以テ、故  
 二、之ヲ以テ、故  
 由テ、乱ス、弁何  
 ト、元實カ、語、  
 カル、元實カ、語、

不可ラス、如シ國力支ス、ハ、寧口劉  
 稹ヲ捨ント、河東ノ兵出テ成ル者朝  
 廷ノ客車ヲ令メ、太原ヲ取ラシムト  
 聞テ、妻孥ノ屠ラレシヲ恐レ、乃チ帰  
 テ、弁ヲ擒メ、京師ニ送ル、之ヲ斬ル、未  
 ク幾クナラス、劉稹カ勢窮感ス、潞  
 人、稹ヲ殺メ、以テ降ス、澤潞平ク、德裕  
 ニ、太尉、衛國公ヲ加ス、牛僧儒ヲ貶メ  
 循州ノ長史ト為ス、李宗閔ヲ封州ニ  
 流ス、〔循州〕廣東ニ屬ス、  
 〔封州〕廣東ニ屬ス、○宦者仇士良  
 カ官爵ヲ削リ、其家ヲ籍没ス、是ヨリ

〔牛僧孺〕文宗ノ時、  
 劉從諫入朝ス、  
 僧孺宗閣政ヲ  
 執リ、之ヲ加ヘ、  
 ス、宰相ヲシム、  
 以テ其患ヲ成、  
 ス、是ニ至テ、既  
 ニ平ク、徳裕、乃  
 チ上ニ言フ、之  
 フ、天下ノ佛、  
 毀ツ、網目ニ寺  
 百餘區、招提蘭  
 若即位ノ三年、  
 昌改元

先キ、士良致仕ス、其黨送テ歸ル、士良  
 之ニ教テ曰ク、天子ヲハ開ナラシム  
 可ラス、常ニ宜ク奢靡ヲ以テ之ヲ  
 マシムヘシ、他事ニ及ニ暇ナカラシ  
 ノヨ、慎テ之ヲノ書ヲ讀ミ、儒生ヲ親  
 近セシムル勿レ、前代ノ興亡ヲ見テ、  
 心ニ憂懼ヲ知ラハ、則チ吾輩疎斥セ  
 ラレント。○天下ノ佛寺ヲ毀ツ、僧尼  
 フ勒メ俗ニ歸セシム。○會昌六年、上  
 崩ス、在位七年、改元スル者、一ツ、曰ク  
 會昌、光王立ツ、是ヲ宣宗皇帝ト為ス

ナリ、能ハ、隠ナ  
 リ、而シテ、行ニ  
 出サ、ルヲ謂  
 フ、ナリ、文宗好  
 テ云々、宣宗外  
 晦ク、内明ニ、  
 臣ト遊、處ス、  
 ニ未ク嘗テ言  
 フ、宗強テ其語  
 フ、誘テ以テ戲  
 ケ、ト為ス、名ツ  
 ス、怡初ノ光王  
 ニ封セラ、光ト  
 為ス、官ヲ立  
 テ、詔メ、怡ヲ  
 フ、以テ、皇太  
 為ス、皇太

宣宗皇帝名ハ怡、憲宗ノ子ナリ、幼ナル  
 トキ、不慧ト号ス、太和ノ後、益自ラ韜  
 匿ス、文宗好テ其言ヲ誘テ以テ笑ヲ  
 為ス、武宗豪邁ニシテ、尤モ之ヲ礼セス、  
 名ツケテ光ト為ス、武宗疾篤シ、子  
 幼ナリ、宦官、禁中ニ定メ、詔メ、怡  
 フ立テ、皇太弟ト為ス、更テ忱ト名  
 ツク、權ニ軍國ノ事ヲ勾當ス、裁決成  
 ク、理ニ當ル、人始テ其ノ陰徳アルヲ  
 知ル、尋テ位ニ即ク。○李徳裕、罷ム、僧  
 儒、宗閔等、北ニ遷ル、徳裕、三ツヒ、隠セ





理治ナリ、唐人、高宗、諱ヲ避テ、皆治ヲ以テ、理ト為ス、(高興)興ハ物ニ托シ、詞ヲ興ス、興ト曰フ、刺史云々、外徙ハ、刺史、京ニ至ラス、直ニ他州ニ徙ラズ、謂フ、(奏)格ハ、止ナリ、文記、義、傳ニ、奏格ノ事、書ヲ奏格ニ、成、事ヲ沮ム、格ニ、謂フナリ、一、刻計、漏上ノ一、刻計、朕ニ負ク、恩ニ背キ、徳ヲ忘ル、又、負ト曰フ、名、延英殿ノ名

長日惟消一局碁ト、安ソ能ク入ラ、理、ト、絢由曰ク、詩人、此ノ高興ヲ托ス、未夕必シモ實ニ然ラス、嘗テ詔ス、刺史外ヨリ徙ルヲ得ル母レ、必ス京ニ至リ、面察セシヨト、絢嘗テ故人ヲ徙メ、隣州ノ刺史ト為ス、便道ヨリ官ニ之カシム、上、之ヲ問テ曰ク、詔命既ニ行ハル、直ニ察格ノ用ヒス、宰相ハ權アリト謂ツ可シト、時方ニ寒シ、絢汗重裘ニ透ル、上、朝ニ臨テ、群臣ニ對スル、未夕嘗テ、懽容アラス、宰相ノ事

宣宗朝ニ臨ム圖



ヲ奏スルコトニ、旁ニ一人ナシ、威嚴仰キ視ル可ラス、事ヲ奏シ畢レハ、忽チ怡然トシ、閑話スル、一、刻計、徐クニ復夕容ヲ整テ曰ク、卿力輩善ク之ヲ為セヨ、常ニ恐クハ、卿力輩、朕ニ負テ再々相見ルヲ得サランヲト、絢嘗テ人ニ謂テ曰ク、吾レ十年政ヲ秉ル、最モ恩遇ヲ承ク、延英ニシテ事ヲ奏スルコトニ、未夕嘗テ汗衣ヲ沾サス、ハアラサルナリト、嘗テ學士韋澳ヲ召シ、左右ヲ屏テ、之ニ問テ曰ク、近日

宣宗朝ニ臨ム圖 上唐宣宗 七

南北司云々南  
 司ハ宰相北司  
 ハ官水火相  
 如シハ其相  
 ノ相生セサ  
 フ謂フナリ天  
 中即位ノ二年  
 改元

内侍ノ權勢如何ノト、對ヘテ曰ク、陸  
 下ノ威斷、前朝ノ比ニ非スト、上目ヲ  
 閉チ、首ヲ搖ク、曰ク、余未シ尙之ヲ  
 畏ル、在リト、嘗テ絢ト謀テ、盡ク官  
 官ヲ誅セントス、濫不辜ニ及ハシ  
 恐ル、絢、密奏ノ曰ク、但罪アラハ、捨  
 勿レ、缺アリ、補フ勿レ、自然ニ消耗  
 ノ盡ルニ至ラント、宦者竊ニ其奏ヲ  
 見ル、是ニ由テ、益朝士ト相ヒ惡シ、南  
 北司、水火ノ如シ○大中十三年、上崩  
 ス、在位十四年、改元スル者一ツ、長子

〔宦者〕王宗實〔表〕  
 甫ノ表ハ姓ナリ  
 本ノ姓ハ仇、警  
 フ避テ改メ表  
 二作ル

立ツ、是ヲ懿宗皇帝ト為ス  
 〔懿宗皇帝〕初ノ名ハ温、鄆王ニ封セラレ、  
 寵ナキヲ以テ太子タルヲ得ス、宣宗  
 崩ス、宦者之ヲ立ツ、更テ灌ト名ツク  
 ○浙東ノ賊、裘甫起ル、邑中原ニ振ル、  
 觀察使王式討テ之ヲ斬ル○九年、徐  
 州ノ賊、龐勳起ル、是ヨリ先キ、南詔、大  
 理、皇帝ト称ス、兵ヲ舉テ入寇ス、播  
 交趾ヲ陷ル〔播州、南夷ニ属ス、徐泗ノ  
 兵ニ救メ、桂州ヲ成ラシム、泗州、淮  
 二属ス、今ノ桂州、廣西期ヲ過テ伐タス、

節度使 霍彦曾  
通鑑 觀察使  
崔彦曾 作  
赤心 盡志  
執事 子ナリ  
咸通 即位ノ二  
年ニ改元

遂ニ乱ヲ作ス、勳粮判官ト為ル、成  
卒、推ノ以テ主ト為ス、兵ヲ擲ノ北ニ  
還ル、過ル所口剽掠ス、徐州ニ至ル、目  
テ節度使ヲ殺ス、諸郡ヲ陷ル、招討使  
康承訓、之ヲ撃ツ、沙陀ノ朱邪赤心  
以テ、前鋒ト為ス、勳、敗死ス、赤心ニ姓  
名ヲ李國昌ト賜ス、大同軍ノ節度使  
ト為ス、尋テ又振武ノ節度使ト為ス  
天同軍今府ト為ル、山西ニ屬ス、即チ  
雲中郡振武代州号ノ振武節度ト為  
ス、咸通十四年、上崩ス、在位十五年、  
改元スル者一ツ、子晉王立ツ、是ヲ僖

官官 劉文浹

殍 餓死ヲ、殍ト  
日フ控告ナリ  
王仙芝起ル衆  
数千ヲ聚テ長  
垣ニ起ル、賊  
買テ、貴ク賣  
ルヲ、取ト曰ク、

僖 皇帝ト為ス

僖 宗皇帝名ハ儂、懿宗ノ少子ナリ、年十

三、官官ノ為ノニ立テラル、懿宗ヨリ  
以來、奢侈日ニ甚シ、兵ヲ用ユル息マ  
ス、賦歛愈急ナリ、水旱實ヲ以テ聞マ  
ス、百姓流殍シ、控訴スル所ナシ、在ル  
所口相聚テ盜ヲ為ス、濮州ノ人、王仙  
芝起ル、濮州山東曹州宛句ノ人、黃巢  
之ニ應ス、曹仙山東ニ屬巢、騎射ヲ善  
ス、任俠ヲ喜ム、嘗テ進士ニ擧テ第セ  
ス、仙芝ト共ニ私塩ヲ販ク、是ニ至テ、

官

史略詳解卷八

唐僖宗

十九

〔數万〕教月ノ間  
ニ衆教万ニ至

〔黃梅〕大敗ス  
之ヲ斬ル元裕  
仙芝ヲ斬ル

衆ヲ聚メテ州縣ヲ攻剽ス、窮民之ニ  
 帰スル、數月ニ數万、仙芝、汝、鄭、唐、鄧ヲ  
 攻シ、鄂州ニ寇シ、〔汝〕州、河南ニ屬ス、  
 即チ江安州ヲ陷ル、〔安州〕、泗州、荆南ニ  
 夏郡ヲ招討曾元裕、申州戰、而メ、大敗ス  
 寇ス、〔申州〕、河南ニ屬、又黃梅ニ大敗ス、之ヲ  
 斬ル、〔黃梅〕縣、蕪黃巢、鄆、沂、濮ヲ陷ル、宋  
 沂ヲ掠ム、〔沂〕州、山東ニ屬ス、即チ瑯琊  
 陽郡、〔沂〕州、河南ニ屬、南ニ渡テ洪、慶、吉、  
 〔陽〕郡、〔沂〕州、河南ニ屬、南ニ渡テ洪、慶、吉、  
 饒、信ヲ陷ル、宣州ニ寇ス、〔洪〕慶、吉、饒、信  
 屬ス、洪、慶、吉、豫、章、慶、ハ、今、浙、東ニ入  
 ノ

ル、鎮海ノ節度使高駢カ為メニ破ラ  
 ル、遂ニ廣南ニ趨ク、廣州ヲ陷ル、潭州  
 ヲ出ツ、〔潭州〕、湖廣ニ屬、北ニ渡テ襄陽  
 ニ向フ、荆門ニ敗レ、復引テ南シ、宣州  
 ヲ陷ル、采石ヨリ江ヲ渡ル、已テニ  
 淮ヲ渡リ申州ヲ陷ル、穎、宋、徐、兗ノ境  
 ニ入ル、東都ヲ陷レ、引テ西ス、〔潁〕州、河  
 ス、潼關ニ入り、長安ニ入ル上、蜀ニ出  
 奔ス、巢、大齊皇帝ト僭号ス、諸道兵ヲ  
 突ノ趨キ援ク是ヨリ先キ、沙陀ノ李  
 國昌ノ子克用、兵馬使ト為テ、蔚州ヲ

龍豆 十八史畧詳解卷八 上 唐僖宗 二十

天同ノ諸將謀  
 即チ雲州、是時  
 段文楚、大同ノ  
 防禦使、タリ、  
 李振武、李國昌、  
 振武ノ節度使、  
 用ト為ル、箕子、  
 蔚州ニ至テ、  
 之ニ兵ヲ起シ、  
 テ文楚ヲ除テ、  
 之ニ代ルヲ以テ、  
 之ニ超テ、用テ、  
 云州ヲ取テ、  
 雲州ヲ取テ、  
 東招義、河東ノ  
 節度使、崔季康、  
 昭儀ノ節度使、  
 李鈞、克用ヲ討

成ル、蔚州ニ北平大同軍ノ諸將謀テ曰  
 ク、今天下大ニ乱ル、朝廷ノ号令、復タ  
 四方ニ行ハレズ、此レ乃チ英雄功名  
 富貴ノ秋ナリ、李振武、名天下ニ聞ス、  
 其子、勇、諸軍ニ冠タリ、若シ輔テ以テ  
 事ヲ舉ケハ、代北ハ平クルニ足ラサ  
 ルナリト、人ヲ潜ニ蔚州ニ詣テ、克  
 用ニ説カシム、克用、雲州ニ趨テ、之ヲ  
 取ル、蔚州ニ北平河東招義、之ヲ討ノ大  
 ニ敗ル、克用、忻代ニ寇ス、忻州、山西晉  
 陽ニ逼ル、已テニソ大ニ盧龍ノ兵ノ

ス而モ兩鎮ノ  
 兵大ニ敗ル

鴉軍、軍中、克用  
 フ号シ、李鴉見  
 ト為ス、其軍皆  
 黒ヲ服スルヲ  
 以テ、ナリ、之ニ  
 降ル、宗權、黄巢  
 兼カ、降ル、賊ノ黨

為ソニ破ラル、蔚州ノ兵モ亦討ソ其  
 父國昌ヲ敗ル、父子達旦ニ亡走ル、  
 五代史ニ、韃靼ニ作ル、夷狄ノ別種、朝  
 ノ名、克用、父子逃テ、其地ニ入ル、種  
 廷、其罪ヲ赦シ、其兵ヲ召シ、賊ヲ討セ  
 シム、克用、沙陀ヲ將テ来ル、賊之ヲ憚  
 テ曰ク、鴉軍至ルト、連リニ賊ヲ破ル、  
 長安ヲ復ス、巢、宮室ヲ焚キ、而シ遁ル、  
 蔡州ニ至ル、節度秦宗權、之ニ降ル、巢、  
 汴州ニ趨ク、克用等、追撃テ大ニ之ヲ  
 破ル、未タ幾ナラス、賊ノ黨、巢ヲ斬テ  
 以テ降ス、○克用、汴州ニ至ルヤ、朱

克用雷光ニ乗シ城ニ  
繼メ出ル圖



全忠之ヲ襲フ、全忠ハ、巢カ將朱温ナ  
 リ、先ニ巢カ為ソニ遣ハル、同華ヲ攻  
 陥ス、尋テ華州ヲ以テ降ス〔同〕陝西ニ  
 馮翊郡〔鞏〕州、名ヲ全忠ト賜フ、宣武ノ  
 陝西ニ屬ス、名ヲ全忠ト賜フ、宣武ノ  
 節度使ト為ル、克用ヲ館ノ甚恭シ、克  
 酒ニ乘ソ語頗ル之ヲ侵ス、全忠、不平  
 ナリ、兵ヲ發ソ驛ヲ圍ミ、之ヲ攻ム〔驛〕  
 原驛、汴州ノ克用醉ス、左右水ヲ以テ  
 城内ニ入リ、之ヲ告ク、克用、乃チ目ヲ  
 其面ニ沃テ、之ヲ告ク、克用、乃チ目ヲ  
 張リ、弓ヲ撥テ起テ走ル、大ニ雷雨シ  
 晦冥ナルニ會フ、醉ヲ扶テ雷光ニ乘

〔宣武節度使〕汴  
州、另ノ宣武節  
度使、為ス

〔總〕繩懸テ下ル

〔正重榮〕節度使  
乱ヲ作シ、自ラ  
安邑解縣ノ塩  
池ヲ專ニス、朱  
玖須寧ノ節度  
使

メ、城ニ繩ノ出ツ、汴人、橋ヲ扼ス、從者  
 カ戰メ、渡ヲ得テ免ル、克用、晉陽ニ還  
 ル、甲兵ヲ治シ、表ノ全忠ヲ討ント  
 ス、詔メ之ヲ和解ス、聽カス○上、成都  
 ヲ發メ、長安ニ還ル○泰ノ宗權、僭号  
 ス○上ノ蜀ニ走ルヤ、宦者田令孜、實  
 ニ之ヲ挾ム、自ラ以テ功ト為ス、權已  
 ヲヨリ出シ、河中ノ王重榮、前ニ乱ヲ  
 作メ、自立ス、令孜、朱玖等ヲ遣メ、之ヲ  
 攻ム重榮、救ヲ克用ニ求ム、克用、方ニ  
 朝廷ノ全忠ヲ誅セサルヲ怨ム、上言

ス、政等、全忠ト相表裡ノ、共ニ臣ヲ滅  
セント欲スト、兵ヲ引テ河中ニ赴ク  
京師震恐ス、令孜、上ヲ劫ノ鳳翔ニ奔  
ラシム、朱玫、追逼レ及ハス、肅宗ノ  
孫、襄王煊ヲ立テ、帝ト為ス、政カ  
將王行瑜、政ヲ斬ル、煊、河中ニ奔ル、王  
重榮、首ヲ斬テ、行在ニ送ル、上、長安ニ  
還ル、上、在位十五年、改元スル者五ツ、  
曰ク、乾符、廣明、中和、光啓、文徳、日ニ官  
官ト相處ルノミ、天下大ニ乱テ、盜賊  
蠡起ス、豪傑日テ其間ニ起ル、五ニ相

〔大漸〕病萬〔宦者〕  
觀軍容使、楊復  
恭〔曠〕僖宗崩ス  
ルニ臨テ、遺制  
ス、傑カ名ヲ般  
ト更ム、明年、能  
紀ト改元ス、復  
夕名ヲ曠ト更

〔昭宗皇帝〕名ハ傑、僖宗ノ弟ナリ、僖宗大

七呑噬ス、朝廷、制スル能ハス、上崩ス、  
壽王立ツ、是ヲ昭宗皇帝ト為ス  
漸ナリ、宦者、之ヲ立テ、太弟ト為ス、  
遂ニ位ニ即ク、後名ヲ曠ト更ム、帝、明  
粹ニシテ英氣アリ、文學ヲ喜ム、僖宗ノ  
威令振ハス、朝廷、日ニ卑キヲ以テ、前  
烈ヲ恢復スルノ志アリ、踐祚ノ始、  
中外忻々焉、然ル内、宦寺ニ制セ  
ラレ、外、強鎮アリ、初志、竟ニ遂ケス、  
越州ノ董昌、僭号ス、昌、先ニ杭州ニ據



宰相華指度李

越州浙東屬錢鏐兵馬使ト為ル  
 朝廷昌ニ命ノ浙東ニ帥トス鏐杭州  
 フ領ス是ニ至テ昌帝ヲ越ニ称ス鏐  
 ニ詔ノ之ヲ討ス○鳳翔ノ李茂貞華  
 州ノ韓建分州ノ王行瑜ノ三鎮兵ヲ  
 舉テ關ヲ犯ス宰相ヲ殺シ廢立ヲ謀  
 ル李克用來リ討スト聞キ乃チ去ル  
 克用邠州ヲ攻テ行瑜ヲ斬ル將  
 兵ヲ岐華ニ移サントス岐鳳翔府貴  
 近沙陀ノ太夕盛ナルヲ恐テ之ヲ止  
 ム克用隴西郡王ヨリ帝ヲ晉王ニ進

援シ遣ス兵ヲ

兵ヲ引テ晉陽ニ還ル○初ノ李克  
 用渭北ニ屯ス李茂貞韓建之ヲ憚ル  
 朝廷ニ事ル甚恭シ克用去ルニ鎮復  
 タ驕慢ナリ茂貞兵ヲ舉テ關ヲ犯ス  
 上華州ニ出奔ス克用援ヲ遣ス又朱  
 全忠洛陽ニ營シ駕ヲ迎ト聞テ茂貞  
 建ト皆懼ル上ヲ奉ノ長安ニ還ル是  
 ヨリ先キ嘗テ諸王ヲノ兵ニ將トシ  
 巡警マシム又四方ニ出シ藩鎮ヲ撫  
 慰マシム南北司事ヲ用ユル者其已  
 ヲニ利アラサランヲ恐レ交諫以テ

十一人通、儀、睦、濟、船、彭、韓、陳、單、延、用、院、東、内、二、少、陽、院、在、神、策、將、指、揮、使、孫、德、昭

不可ト為ス、上、已ラ得スノ之ヲ罷ム、上、華ニ在リシ時、宦官劉季述、諸王十、一人ヲ圍殺ス、是ニ至テ、季述、上ヲ少陽院ニ幽シ、而シテ太子裕ヲ立ツ、同平章事崔胤、神策將ニ説テ、季述ヲ討誅ス、上、位ニ復ス、宦官胤ヲ去ント謀ル、時ニ朱全忠、天子ヲ挾テ諸侯ヲ令スルノ意アリ、胤、書ヲ以テ之ヲ召ス、全忠兵ヲ舉テ来ル、宦者韓全誨等、上ヲ劫シ、胤ヲ殺シ、全忠、之ヲ圍ム、季述、遂ニ全誨等ヲ殺シ、上ヲ奉シ長

定策云ク其天、子功ヲ以テ、故、天子ヲ視ル、試、人ヲ取ル、所、故、門視ル、如、日

安ニ還ラシム、全忠兵ヲ以テ宦官ヲ驅リ、盡ク之ヲ殺ス、其出テ外方ニ使スル者ハ、所在ニ詔メ、之ヲ誅ス、黃衣ノ幼弱ナル者三十人ヲ存メ、洒掃ニ脩フ、宦官、文宗ヨリ已後、廢置其掌握ニ在リ、定策國老門生天子ノ号アリ、是ニ及テ、大ニ誅殺セラル、全忠、東平王ヨリ、爵ヲ梁王ニ進テ、汴ニ還ル、全忠、威、天下ニ震フ、篡奪ノ志アリ、胤、懼テ之ヲ為メニ備フ、全忠、表メ胤ヲ除カント請フ、密ニ其黨ヲメ之ヲ殺

〔純〕千云々純千  
ハ、即チ純真山  
ナリ、大同府城  
北五十里ニ在  
リ、純真ハ、猶  
漢ニ千里ト言  
フカコトシ、其  
山ノ東、積雪多  
シ、故ニ諺ニ曰  
ク、純真山頭、雀  
ヲ凍殺ス、何ソ  
生カニ飛去テ  
樂マサルト

〔入〕ヲ遣シ李振

サシム、遂ニ上ニ請テ東京ニ遷都セ  
シム、百官ヲ促メ東行セシム、士民ヲ  
驅使ス、上、侍臣ニ謂テ曰ク、鄙語ニ云  
フ、純真山頭雀ヲ凍殺ス、何ソ生ル処  
ニ飛去テ樂マサルト、朕今漂泊ス、知  
ラス、竟ニ何ノ所ニ落ント泣下テ巾  
ヲ濡ス、上、洛陽ニ至リ、李茂貞等撤  
移シ、興復ヲ以テ辭ト為ス、全忠、將ニ  
西討ヤントス、上ノ英氣アルヲ以テ、  
変ヲ生センヲ恐レ、人ヲ遣シ洛ニ入  
テ、之ヲ弑セシム○上、位ニ即シヨリ、

〔歌〕後ノ詩ヲ  
作リ、後語ヲ歌  
ルヲ為ス、意言  
外ニアリ〔鄭五〕  
紫カ行〔班簿〕ニ  
注ス、朝ニ在ル  
者ハ、姓名ヲ注  
ス〔堂史〕中書ノ  
晋吏  
〔龍紀〕即位ノ二  
年ニ改元  
〔哀皇帝〕廟号ハ  
景宗

賢豪ヲ夢想セサルニ非ス、卒ニ之ヲ  
用ヒス、嘗テ朝士鄭紫ナル者アリ、恢  
諧ヲ好ム、多ク歌後ノ詩ヲ為テ、時事  
ヲ嘲ル、上、其蘊ム所アルヲ意ス、手ツ  
カラ班簿ニ注シ、命ヲ以テ相ト為ス、  
堂史、走テ告レ天信ヤス、已テニノ賀  
客至リ、紫首ベヲ搔テ曰ク、歌後ノ鄭  
五、宰相ト作ル、時事知ル可シト○上、  
在位十七年、改元スル者七ツ、曰ク、龍  
紀、大順、景福、乾寧、光化、天復、天祐、子立  
ツ、是ヲ哀皇帝ト為ス

龍頭 十八史略譯解卷八 唐昭宗 其

〔九人〕通鑑ニ全忠、蔣玄暉ヲソ昭宗ノ諸子徳王裕、揀王初、度王禕、沂王禎、遂王禕、景王禎、禕王禕、祥雅王禕、曲池ニ置酒、酒酣ナル酒、酒之ヲ縊殺シム

〔哀皇帝〕初、名ハ祚、昭宗、廢太子祐アリ、已テニ壯ナリ、全忠之ヲ惡ム、祚幼ヲ以テ立ヲ得タリ、名ヲ祝ト更ム、全忠裕等九人ヲ殺ス、皆昭宗ノ子ナリ、全忠相國ト為リ、九錫ヲ加フ、帝ノ在位仍ヲ天祐ト稱ス、四年ナラスノ梁ニ禪シ、尋テ弒セラル、唐高祖ヨリ是ニ至ル二十世、凡テ二百九十年  
○五代  
○梁 世、後梁ト号ス、後、唐、晋、漢、周、皆此為リ、汴ニ治ス、汴ハ古ノ大梁ナリ、後梁王ニ封セララル、尋テ天子ノ位

〔宋五經〕名ハ誠、五經ヲ以テ教授ス、故ニ云テ、汴ノ鎮ス、即チ宜武ノ節度使

〔横行〕縦横ニ肆ニ行テ、諸鎮ヲ謂フ、陵スルヲ謂フ

〔太祖皇帝〕初、名ハ温、姓ハ朱氏、礪山ノ人、礪山ニ屬ス、朱五經ノ子ナリ、少トキ無賴ナリ、黃巢ニ從テ、盜ヲ為ス、唐ニ降ノ名ヲ全忠ト賜ス、初ノ汴ヲ鎮メ、徐州、兗州、鄆州ヲ攻併ス、河北、河東ノ諸郡ヲ攻テ、屢李克用ト兵ヲ交ユ、尋テ河中、晋、絳ヲ取ル、〔晋〕州、山西ニ屬ス、華岐ニ用ニ、東ノ方、青州ヲ降シ、南方荆襄ヲ取ル、〔襄〕州、河南ニ屬ス、諸鎮ノ間ニ横行ス、唐都ヲ洛ニ劫迂シ、遂ニ

唐哀帝 五代梁

朱三太祖ノ先  
四鎮節度使ヲ以  
唐全忠義ヲ太  
宣武宣義太  
平護國ノ節度  
使ト為ス

唐ヲ奪フ名ヲ晃ト更ム其兄全昱ヲ  
封メ王ト為ス嘗テ之ヲ罵テ曰ク朱  
三汝天子ト作カ汝黃巢ニ從テ賊ノ  
作ス天子汝ヲ用テ四鎮ノ節度使ト  
為ス何ソ汝ニ負ク奈何ソ唐家三百  
年ノ社稷ヲ滅メ自ラ帝王ト為ルヤ  
行當サニ族滅セラレハシト是時李  
克用晋ニ王タリ李茂貞本姓ハ宋名  
軍ノ戌卒タリ黃巢京西ヲ犯ス茂貞  
功ヲ以テ扈都頭ニ補セラレ信宗  
姓名ヲ賜ヒ鳳翔隴右ノ節度使ニ  
拜ス昭宗ノ時封岐王ト節度使ニ  
二王タリ楊行密唐ノ僖宗景元年

馬殷許州鄆陵  
ノ人唐ノ節度  
中武安軍節度  
使ニ拜セラル  
潭州ヲ鎮ス遂  
有ッ湖南ノ地ニ

薄ト為ル私富庶遂ニ淮南ニ王タリ行密已  
テニ卒ス子渥之ニ代ル王建陽州人  
唐ノ僖宗ノ初陳欽瑄西川ニ節制  
致リ田令孜監軍タリ瑄疑テ之ヲ止ム建  
怒ル兵ヲ以テ宗授ル成都ヲ攻ム欽瑄令孜  
ヲ殺ス昭宗遂ニ其地ニ王タリ有ス蜀ニ  
使ヲ以テ錢鏐兩浙ニ王タリ王潮閩ニ  
王タリ巴テニ卒ス弟審知光州固始ニ  
扱ル有ッ冠乱アリ目テ閩嶺五州ノ末ニ  
黃巢ノ亂アリ就テ閩王ニ封ス馬殷湖  
地ヲ有ッ昭宗就テ閩王ニ封ス馬殷湖  
二代ル建ニ屬ス今ノ福州福馬殷湖  
南ニ扱ル劉隱廣ニ扱ル皆唐ノ末ヨリ

批上隱カ祖ハ  
安仁、後閔中ヨ  
ナリ、南海ニ商賈  
リ、曰テ家ス、梁  
封ノ卒ス、其後  
為ス、卒ス、其後  
位ヲ襲キ、盡ク  
嶺表ノ地ヲ僭有  
ス、廣州ニ僭号

以来、諸州ニ割拠ス。○梁主、馬殷ヲ以  
テ、楚王ト為ス。○蜀主王建、帝ト称ス。○晋  
王克用卒ス、初、克用、養子アリ、存孝ト  
曰フ、最モ驍勇ニシテ功アリ、養子存信、  
疾シテ之ヲ譖ス、存孝、禍ヲ懼テ叛ス、克  
用、討獲テ囚テ歸ル、其才ヲ惜ム、意ヲ  
刑ニ臨ムトキ、必ス之カ為メニ請フ  
者アリ、ト、諸將其能ヲ疾ミ、竟ニ一  
人言フナシ、遂ニ死ス、又薛阿檀ト云  
者アリ、亦勇ナリ、密ニ存孝ト通ス、事  
ノ泄シテ恐テ自殺ス、是ヨリ克用カ

災、澗州城下ニ曰  
ク、澗州城下ニ曰  
於テ、更ニ長城  
ヲ築キ、内、以、奔  
突ヲ防キ、外、以、  
テ、援兵ヲ拒ク、  
之ヲ、夾、寨ト謂  
フ、塹ノ之ヲ、堅  
ル、寨ト曰フ、堅  
ル、寨ト曰フ、堅

兵、勢、衰、ク、弱シ、唐ノ末、數、汴、人、ノ、為、ニ  
攻、ラ、レ、テ、數、州、ヲ、失、フ、汴、兵、直、ニ、晋、陽  
ノ、城、下、ニ、抵、ル、克、用、城、ニ、登、テ、備、禦、ク、  
寢、食、ニ、違、アラ、ス、後、ニ、汴、兵、再、ヒ、晋、陽  
ヲ、圍、ム、疲、ヲ、以、テ、還、ル、克、用、幾、シ、ト、走  
ラ、ン、ト、欲、ス、汴、兵、ノ、去、ル、ニ、會、テ、止、ム、  
克、用、汴、人、ト、爭、フ、能、ハ、サル、者、累、年、  
タ、ト、ノ、以、テ、卒、ス、ル、ニ、至、ル、子、存、勗、立  
ツ、時、ニ、梁、兵、晋、ヲ、侵、メ、澗、州、ヲ、圍、ム、晋  
ノ、李、嗣、昭、城、ヲ、閉、テ、固、ク、守、テ、年、ヲ、踰  
ユ、梁、夾、寨、ヲ、築、キ、之、ヲ、守、ル、存、勗、諸、將

先王克用ヲ謂  
ス後此ニ倣ヘ

ト謀テ曰ク、朱温カ憚ル所ハ、先王ノ  
ミ、吾カ新ニ立テ聞テ、以テ童子ト為  
シテ、必<sup>ホ</sup>驕<sup>ホ</sup>怠<sup>ホ</sup>ノ心アラシ、若シ精兵ヲ  
簡ヒ、道ヲ倍シ之ニ趨キ、其不意ニ出  
テハ、威ヲ取り、霸ヲ定シ、此ノ一舉  
ニ在リ、失フ可ラサルナリト、兵ヲ帥  
ヒ、晉陽ヲ發シ、三垂岡ノ下ニ伏ス  
岡<sup>一</sup>潞州ノ黎且サニ大霧ニ乘シ、直ニ  
城<sup>一</sup>縣<sup>一</sup>州<sup>一</sup>ノ黎且サニ大霧ニ乘シ、直ニ  
夾<sup>一</sup>寨<sup>一</sup>ニ攻リ、塹ヲ填シ、鼓譟メ入ル、梁  
兵大ニ潰ユ、遂ニ潞ノ圍ヲ解ク○淮  
南ノ將張顥、徐温、楊溆ヲ弑ス、温、復タ

隆演<sup>一</sup>渥カ弟

徐知誥<sup>一</sup>本姓ハ  
李<sup>一</sup>徐州ノ人、揚  
行<sup>一</sup>啓<sup>一</sup>之ヲ掠シ  
得<sup>一</sup>テ、養<sup>一</sup>テ子ト  
為<sup>一</sup>ス、渥<sup>一</sup>之ヲ憎  
テ、行<sup>一</sup>啓<sup>一</sup>以テ温  
ニ賜<sup>一</sup>フ、名ツケ  
テ知誥ト曰フケ  
族<sup>一</sup>父<sup>一</sup>ノ再從  
兄弟

顥ヲ殺ス、將吏推ノ揚隆演ヲ立ツ、徐  
温自ラ昇州ヲ領ス<sup>昇州江東ニ屬ス、即建康ニ而ソ</sup>  
養子徐知誥ヲ以テ、往テ之ヲ治シム  
○梁王、密知ヲ以テ、閩王ト為ス○梁  
劉守光ヲ以テ、燕王ト為ス、守光ハ、盧  
龍ノ節度使仁恭カ子ナリ、是ヨリ先  
キ、其父ヲ囚メ、自ラ軍府ヲ領ス○梁  
ノ夏州乱ル、節度李彝昌ヲ殺シ、其族  
父仁福ヲ以テ之ニ代フ、夏州ノ李氏  
本姓ハ拓拔、上世、唐ヨリ姓ヲ賜ス、鎮  
ヲ領スル久シ○廣州ノ劉隱、卒ス、弟

〔遺孽〕遺苗ノ孽  
子

巖之ニ代ル○劉守光、燕帝ト稱ス○  
 鎮州ノ王、鎔〔鎮州〕河北ニ屬定州ノ王、  
 処直、晋王ヲ推シ盟主ト為ス、梁鎮州  
 ヲ攻ム、諸郡ヲ襲取ル、晋王、其兵ヲ柏  
 郷ニ伐テ、大ニ之ヲ破ル〔柏郷〕縣、趙晋  
 二鎮ヲ帥テ、燕ヲ伐ツ〔三鎮〕鎮梁主之  
 ヲ救フ、大敗ノ走帰ル、是ヨリ先キ、梁  
 主、已テニ疾アリ、是ニ至テ、慙憤ソ、日  
 久、我天下ヲ經營スル三十年、意ハサ  
 リキ、大原ノ遺孽〔天原〕晋王ノ更ニ昌  
 熾ナル、此ノ如クナラントハ、吾其志

〔葬地〕ナシ謂ハ  
 已レカ地必スハ  
 昔ナ晋ノ有ト  
 ナラント妻王  
 氏  
 〔假子〕養子

ヲ觀ルニ小ナラス、我死セハ諸兒彼  
 カ敵ニ非ルナリ、吾葬地ナシト、疾愈  
 劇シ、且ツ躁怒ヲ加フ、假子友文ノ妻  
 ヲ愛ス、將ニ友文ヲ立テ、嗣ト為シ  
 トス、遂ニ其子友珪カ為メニ弒セラ  
 ル、在位六年、改元スル者ニツ、曰ク、開  
 平、乾化、初メ汴州ヲ以テ東都開封府  
 ト為ス、洛陽ヲ西都ト為ス者、凡ソ四  
 年、友珪自立ス、尋テ誅ニ伏ス、均王立  
 ツ

〔均王〕此レ通鑑  
 依テ均王ト

〔均王〕名ハ友貞、東都ノ指揮使ト為ル、友





〔鎮定ノ營〕鎮州  
六王鎔カ營、定  
州ハ、王処直カ

王建殂ス、于宗行立ツ。○吳主楊隆演卒ス、弟溥立ツ。○梁、錢鏐ヲ以テ吳越國王ト為ス。○晉、梁ト連歲兵ヲ交シ、梁ノ魏州晉ニ降ス。〔魏州〕河東ニ屬ス、即チ河東郡。晉王、魏ニ入テ德州、澶州ヲ拔ク。〔德州〕河東ニ屬ス、即チ平原郡。〔澶州〕河東ニ屬ス、即チ頓丘。陽ヲ襲フ、克タス。還ル、鎮定ノ營ヲ攻ム、晉ノ師之ヲ敗ル。鄆、魏州ヲ攻ム、晉王、又之ヲ敗ル。梁、又兵ヲ遣シ、晉陽ヲ襲フ、晉人撃テ之ヲ卻ク。晉、衛、磁、洛、相、邢、滄、貝ノ州ニ克テ、濮、鄆ヲ掠ス。〔衛〕

東ニ屬ス、今梁入、河ヲ決メ、以テ晉ヲ限ル。晉王、攻テ其四寨ヲ拔ク、已テニ大舉ノ梁ヲ伐ツ、胡柳ニ戰フ。〔胡柳〕州ノ西、臨濮縣。晉ノ周德威敗死ス。晉王、兵ヲ収テ復タ戰フ、大ニ梁軍ヲ破ル。晉、德勝、南北ノ兩城ヲ築ク。〔德勝〕嶺、丹ノ北界、古北口ノ東北ニアリ。梁、之ヲ攻ム、克タス。梁ノ招討王瓚、晉ノ為シニ敗ラル。梁、河中晉ニ降ス、鎮州ノ將趙王王鎔ヲ弒ス。晉王討シ之ヲ平ラク、是ヨリ先キ、吳蜀屢書ヲ以テ

傳國室初ノ僧  
傳其之ヲ得テ  
以テ常ノ玉ト  
為ス、將サニ之  
ヲ鬻ントス、或  
人ニ之ヲ識テ曰  
ク傳國室ナリ  
ト、是ニ至テ、乃  
チ行臺ニ詣テ、  
之ヲ献ス、至鉄  
槍時ニ彦章ヲ  
号シ、鉄槍ト為  
ス、彦章、驍勇ニ  
倫戦フコトニ、  
鉄槍ヲ用ユ、皆  
十重サ百斤、一  
ハ按ニ置キ、一  
ノ手ニ在リ、向  
フ所口前ハナ  
ク、時人、之ヲ  
鉄槍ト謂フ  
其下皇南麟

晋王ニ勸テ帝ト称セシム、晋王、自ラ  
謂ラク、先王遺言アリ、當ニ務テ唐ノ  
社稷ヲ復ヘシト、既ニノ傳國寶ヲ魏  
州ニ得タリ、將佐皆賀シ、勸進ノ已マ  
ス、遂ニ帝位ニ魏ニ即ク、國ヲ唐ト号  
ス、李嗣源ヲ遣シ、梁ノ鄆州ヲ襲取セ  
シム、梁、王彦章ヲ以テ招討ト為ス、唐  
主、徳勝ノ守者ヲ戒メ曰ク、王鐵槍、勇  
決ナリ、之ヲ謹メ、彦章、果ノ南城ヲ  
抜ク、南徳勝城進テ諸寨ヲ拔キ、楊劉  
ニ至テ、力攻ス、揚劉城ノ名、鄆州ノ北

王鉄槍勇戦ノ圖



作克タスノ退ク、梁、彦章ヲノ鄆ヲ攻  
シム、唐主之ヲ救フ、梁、敗テ彦章死ス、  
唐、嗣源ヲ以テ前鋒ト為ス、五日ニ大  
梁ニ入ル、梁主、猶ヲ諸兄弟ノ危ニ乘  
ノ、乱ヲ謀ランヲ慮テ、盡ク之ヲ殺ス、  
尋テ其下ニ命メ、已レヲ殺サシム、在  
位十一年、改元スル者ニ以テ曰ク、貞明、  
龍徳、梁、太祖、帝ト称メヨリ、是ニ至テ  
二世、一十七年ニノ亡  
○唐ト李存勗、父克用ノ爵ヲ嗣テ、晋王  
テ唐ニ繼テ、天下ヲ有ツ、國、曰

文苑 頁 十八史略譯解卷八 五代唐

朱邪五代史 朱邪部族 朱邪後曰 賜姓 唐宗 時帝祖 赤心招討 承訓力前 為力寇勳 滅ス、姓ハ 國昌ト賜 克用國昌 大人云々 大父ヲ稱 本ト周頌 語ナリ、武 師ヲ於、鑠 用ヒス、退 師ヲ於、鑠 用ヒス、退

莊宗皇帝名存勗、沙陀ノ人ナリ、本姓ハ 朱邪、先世、功ヲ立テ、姓ヲ李ト賜フ、父 克用、勇略アリ、一目微眇、獨眼龍ト号 ス、唐ノ為ニ、黄巢ヲ平ケテ、大功ヲ 立ツ、晋ニ王タリ、朱氏ト仇ヲ為ス、暮 年、頗ル為ニ感ノラル、憂色ニ形ル、 存勗、幼ニシテ、進言ノ曰ク、朱氏、凶ヲ窮 ヲ暴ラ極ム、人怒ミ神怒ル、極テ將ニ 斃レントス、吾家世忠貞ヲ襲ヌ、大人 當ニ導養時、晦メ、以テ其衰ヲ待ツベ シ、奈何ノ輕シク沮喪ヲ為シ、群下ヲ

借ニ晦シ、然ソニ 純光ナリ、然ソニ 後ニ一タヒ、我 衣ニ定ルヲ、謂 大ニ定ルヲ、謂 克寧、監軍張承 業、大将李存瓌 吳洪 李亞子存勗カ 小名

ノ望ヲ失ハシムルヤト、克用悦ス、終 ニ臨テ、立テ、嗣ト為ス、其下ニ謂テ 曰ク、此ノ子志氣速大ナリ、必ス能ク 我事ヲ成サント、年十七ニシテ、晋王ノ 位ヲ嗣ク、即チ兵ヲ舉ケ、梁ヲ破リ、啓 ノ圍ヲ解ク、是ヨリ連リニ勝ツ、梁祖、 歎ノ曰ク、子ヲ生マハ當ニ李亞子ノ 如クナルヘシ、吾カ兒ハ豚犬ノミト、 存勗、東ノ方幽州ヲ併セ、北ノ方契丹 ヲ卻ク、南ノ方梁ト河ヲ夾テ、百戦ス、 是ヨリ先キ、晋陽ノ監軍、故ノ唐ノ宦

唐 五代 史略言解卷八 上

〔摺〕撥ナリ

〔宗社〕宗廟、社稷

〔赤族〕盡ク其族ヲ滅ス、漢書ノ注、以テ流血シ、其族ヲ一説ニ赤族ノ言ハ、盡クナリ、遺類ナキナリ、古人、空ニキ

者張承業、晋王ノ為ニ財賦ヲ招收シ、兵馬ヲ召補シテ、攻戰ス、連年、接應ノ乏カラス、皆承業力意ハ、唐ノ宗社ヲ復スルニ在リ、王ノ帝ト稱セシトスルヲ聞テ、加ノ諫ム、止ム可ラサルヲ知テ、慟笑シテ曰ク、諸侯ノ血戰ハ、本ト唐家ノ為ニス、今マ王、自ラ之ヲ取ル、老奴ヲ誤ルト、悒々トシ、疾ヲ成シテ卒ス、王、位ニ即ク、晋ヲ改テ、唐ト為ス、唐ノ祀ヲ奉ス、汴ニ入テ、梁ヲ滅ス、已テニ、ノ雒陽ニ遷ル、侍中郭崇

ノ物ナキヲ謂ヒ、赤ト曰フ、赤地千里、其家赤貧ノ如キ是ナリ、崇韜素ヨリ、官者ヲ惡ム、是ニ至テ、成都、下ルト雖モ、而正盜未タ息マズ、崇韜去テ後、患ヲ為シ、道ヲ分テ、命メ道ヲ淹留ノ未討ス、淹留ノ未其權ヲ專ニス、皇テ親セシム、皇辰、遂ニ、帝ニ繼サレム、之ヲ殺

韜、謀略アリ、唐王ヲ佐テ業ヲ成ス、是ニ至テ、權内外ヲ兼ス、謀猷規益、忠ヲ竭メ、隱コトナシ、人物ヲ薦引ス、他ノ相ハ成ヲ受ルノ、○荆南ノ高季興入朝ス、高興ハ、季昌ノ改名ナリ、唐、以テ南平王ト為ス、○蜀主王衍、盤遊淫瀆ナリ、國乱盜起ル、唐、皇子繼業ト郭崇韜ヲ遣メ、之ヲ伐クシム、遂ニ蜀ヲ滅ス、衍降ル、唐、其族ヲ赤ス、繼業、讒ヲ信ス、崇韜ヲ殺メ、還ル、右前蜀王建、梁年ニ借号ノヨリ、是ニ○唐、孟知祥ヲ至テ、二世、凡テ十六年

新編 皇

十八史略評解卷八 上 五代 唐

五

〔伶人云々〕伶人ハ樂エナリ初ハ胡柳ノ役、伶人周匝、梁ノ為、ノニ獲ラレ帝、毎ニ之ヲ思ス、汴ニ入ニ及テ、西見テ泣テ曰ク、臣生テ得ルニハ、陳俊ノ教坊使、使儲徳源ハ力ナリ、願シハニ州ヲ乞テ、以テ遂ニ俊ヲ以テ景州ノ刺史ト為、為ス、徳源ヲ憲州ノ刺史ト為、〔優名〕唐帝、優ニ雜ル小名〔敬

以テ、西川ノ節度使ト為ス。○唐帝、梁ニ克テヨリ後、寢驕ル、首ニ伶人ヲ以テ、刺史ト為ス、帝幼ヨリ音律ニ習フ、或ハ時ニ自ラ粉墨ヲ傳ク、優人ト共ニ戲ス、優名ニ之ヲ李天下ト謂ス、嘗テ自ラ呼テ、李天下、李天下ト曰フ、優人敬新磨、遽ニ前テ其頰ヲ批ツ、帝色ヲ失ス、新磨、徐ニ曰ク、天下ヲ理スルハ、一人ナリ、尚ラ誰ヲカ呼フヤト、帝悦フ、諸伶、官掖ヲ出入メ、搢紳ヲ侮弄ス、群臣憤リ疾ム、敢テ氣ヲ出スナシ、

新磨敬ハ姓、新磨ハ名〔批〕手ヲ以テ之ヲ擊ツナリ、尚ラ誰ヲ呼ヤ、其李天下ヲ重呼スルヲ調スルナリ、紳公卿大臣〔宿〕將故、大臣〔魏〕博ノ將、魏博ノ指揮使、楊仁晟、所部、兵ヲ將テ瓦橋關ヲ成ル代、復テ歸ル云、昔シ、貝州ニ屯、ニ還ルヲ許シ州

亦及テ相ヒ拊托ノ傾ヲ納レ、展轉ノ以テ、恩澤ヲ干ル者アリ、政ヲ蠹シ、入ヲ害ス、恣ニ讒慝ヲ為ス、帝、宿將ヲ疎忌シ、軍士ヲ恤マズ、數出テ、遊獵ノ民、田ヲ蹂躪ス、上下咨怨ス、魏博ノ將瓦橋ヲ成ル〔瓦橋〕關、雄代テ歸ル、復テ留テ、貝州ニ屯セシム、遂ニ乱ヲ作ス、趙在礼ヲ奉メ、入テ鄴都ニ拠ラシム、楊仁晟ノ部兵、皇甫暉、其徒ト夜乱ヲ作シ、殺ス、仁晟ヲ劫ス、仁晟、從ハス、暉、之ヲ殺ス、又指揮使、超在礼、乱ヲ聞テ、衣帶スルニ及フ、其足ヲ曳テ、走ル、暉、追テ、之ニ及フ、其足ヲ曳テ、走ル、下

五代唐

〔軍士大ニ謀ク  
 云々〕嗣源、鄴、  
 城中ニ至テ、軍  
 城ヲ攻メ、直、  
 ノ夜、從馬直、  
 軍士、張破、敗、  
 作、ノ衆、ヲ、  
 博、大、ニ、謀、ク、  
 等、フ、謂、フ、  
 莊、宗、暉、等、  
 ラ、サ、ル、ヲ、  
 嘗、ラ、城、ニ、  
 ノ、日、嚙、類、  
 ス、勿、レ、ト、  
 ア、リ、〔從馬直、  
 直、ハ、當、直、  
 リ、直、殿、直、  
 直、ノ、知、シ、  
 二、莊、宗、諸、  
 驍、勇、者、ヲ、  
 選、

ス、示、ス、ニ、  
 ス、在、礼、懼、  
 以、テ、帥、ト、  
 取、リ、遂、ニ、  
 源、ヲ、ノ、之、  
 士、大、ニ、  
 年、百、戰、  
 思、ヲ、弃、  
 思、フ、主、  
 ニ、盡、ク、  
 コ、口、從、  
 マ、軍、使、  
 遷、ニ、盡、  
 最、及、ト、  
 從、フ、亂、  
 鄴、都、ヲ、  
 唐、將、  
 城、下、ニ、  
 將、士、主、  
 得、タ、リ、  
 任、ス、貝、  
 云、城、ニ、  
 院、ニ、ス、  
 數、卒、  
 是、ヨ、リ、  
 中、夜、ニ、  
 一、月、  
 先、  
 後、當、  
 一、月、  
 從、  
 一、月、  
 先、  
 後、當、

テ、新、軍、ト、  
 分、テ、四、  
 ヲ、置、テ、  
 ト、為、ス、  
 ク、其、族、  
 ン、ト、欲、  
 部、屬、ト、  
 直、ノ、謂、  
 從、馬、直、  
 二、告、テ、  
 王、温、ノ、  
 王、鄴、ノ、  
 曹、ヲ、侯、  
 下、〔令、公〕  
 書、令、タ、  
 之、ヲ、為、  
 ト、為、ス、  
 兵、ハ、城、  
 即、チ、嗣、

輩、初、ヨリ、  
 議、城、中、  
 ン、ト、欲、  
 リ、令、公、  
 レ、ト、白、  
 川、城、中、  
 濱、ニ、嗣、  
 兵、ヲ、召、  
 曰、ク、公、  
 為、ノ、ニ、  
 テ、天、子、  
 叛、心、ナ、  
 但、死、ヲ、  
 今、衆、  
 合、セ、諸、  
 河、南、ニ、  
 軍、民、ノ、  
 軍、ヲ、擊、  
 城、ニ、入、  
 之、ヲ、逆、  
 將、ニ、  
 不、幸、ニ、  
 凶、人、ノ、  
 明、ナ、ル、

教讀

五代唐

天

領スル所ノ者  
 言ハ、城中ノ趙  
 在礼寺、獨ノ嗣  
 源ヲ納テ外兵  
 フ受ケス「星行」  
 星ハ、星ヲ見ル  
 ナリ、早行ヲ謂  
 フ「過」テ通スル  
 ラ得ス「李紹等  
 ノ為」ニ「過」ノ  
 ラレ、上ニ通ス  
 ルヲ得ス「殿」軍  
 後ヲ、殿ト曰フ

可シト、嗣源、乃南ノ方相州ニ趨ル、  
 者奏ス、嗣源、已テニ叛スト、嗣源、章ヲ  
 上テ、自ラ理ス、過テ通スルヲ得ス、始  
 テ疑懼ス、石敬瑭カ曰ク、安ソ上將叛  
 卒ト城ニ入テ、而ソ他日恙ナキラ保  
 ヲ得ル者アラソヤ、大梁ハ、天下ノ都  
 會ナリ、願クハ先ツ往テ之ヲ取レ、始  
 テ自ラ全ス可シト、康義誠カ曰ク、主  
 上無道ナリ、軍民怨望ス、公、衆ニ從ハ  
 ヲ、則チ生シ、節ヲ守レハ必ス死セシ  
 ト、嗣源、乃チ敬瑭ヲ以テ、前鋒ト為ス、

勸進勸テ帝位  
 ニ即カシム

李從珂、殿タリ、兵ヲ引テ大梁ニ入ル、  
 唐主、関東ニ如ク、嗣源カ已テニ大梁  
 ニ拠テ、諸軍離叛スルヲ聞テ、神色沮  
 喪ス、歎ソ曰ク、吾濟スト、即チ命ソ師  
 ヲ旋ス、從馬直郭從謙、兵ヲ帥テ帝ヲ  
 沁水ニ攻ム沁水、成卒ニ出ツ、東唐主、  
 流矢ニ中テ殂ス、帝ト称スル僅ニ三  
 歳ニシテ、弒ニ遇ス、改元スル者一ツ、曰  
 ク、同光、伶人、樂器ヲ欲メ、屍ヲ覆テ之  
 ヲ焚ク、嗣源、之ヲ聞テ、痛哭ス、乃チ洛  
 陽ニ入ル、百官、殿ヲ上テ、勸進ス、許サ



蕃漢馬歩蕃兵、漢兵、馬兵、步兵

ス、又三夕、嗣源ニ請テ、國ヲ監セシム、乃テ之ヲ許ス、繼、蜀ヨリ歸ル、途ニ内難ヲ聞ク、長安ニ至テ自殺ス、監國立ツ、是ヲ明宗皇帝ト為ス

〔明宗皇帝〕本ト胡人、遷信烈ナリ、晋王克

用カ養子タリ、嗣源ト名ツク、莊宗、梁

ヲ滅ス、嗣源、功最モ高シ、中書令、蕃漢

馬歩ノ總管ト為ル、命ヲ受テ鄴ヲ討

ス、叛卒ノ為メニ推サル、鄴ヨリ汴ニ

趨キ、洛ニ入ル、遂ニ位ニ即ク、名ヲ置

ト更ム、契丹ノ阿保機卒ス、子德光

〔真下王審知ノ養子延重〕

立ツ、閩王、王審知卒ス、子延翰立ツ、

驕淫殘暴ナリ、其下之ヲ弑ス、而シテ其

弟延鈞ヲ立ツ、後帝ト稱ス、名ヲ璘ト

更ム、吳王揚溥、帝ト稱ス、南平王

高季興卒ス、子從誨立ツ、楚王馬殷

卒ス、子希範立ツ、後希範卒ス、希範立

ツ、吳越王錢鏐卒ス、子元瓘立ツ、

夏州ノ李仁福卒ス、子彝超嗣ク、西

川ノ孟知祥、東川ヲ併ス、〔東州〕郡、四

潼川知祥ヲ以テ、蜀王ト為ス、唐ノ

秦王從榮、驕狠ナリ、自ラ時論ノ与セ

〔從榮〕明宗ノ長子

ト稱ス

〔蜀王〕世ニ後蜀

ト曰フ

〔大鈴〕就ク、或ハ

寐熱テ而悟ム、輒

〔寐〕則キ、倦極レ

在リ、未ク嘗テ

〔少〕ヨリ軍中ニ

冥越王錢鏐、

〔子〕

〔秦〕

五代唐

下

〔牙兵〕新五代史  
六秦王從榮、天  
下ノ兵馬大元  
帥ト為リ、又兵  
柄ヲ握ル、目テ  
嚴衛、捧聖千人  
ヲ請テ、牙兵ト  
為ス、禁衛、禁中  
宿衛、府兵、秦王  
ノ府〔皇城〕使、安  
從益〔登極〕極ハ  
皇極ナリ、天子  
居ル所ヲ指ス  
〔某〕其名ヲ稱ス

サレテ知テ、常ニ懼ル、嗣タレテ得サ  
ラシラト、唐王、疾ニ寢ス、遷ニ牙兵千  
人ヲ率テ、端門ノ下ニ至リ、將ニ入  
トス、禁衛之ヲ討ス、從榮カ兵潰ユ、走  
テ府ニ歸ル、皇城使之ヲ斬ル、唐主悲  
歎シ、疾劇シ、遂ニ歿ス、唐主、性猜忌セ、  
ス、物ト競ナシ、登極ノ年已テニ六十  
ニ踰ユ、毎夕宮中ニ於テ、香ヲ焚キ、天  
ニ祝シテ曰ク、某ノ胡人、乱ニ目テ衆  
ノ為ソニ推サル、願クハ、天、早ク聖人  
ヲ生シ、生民ノ主ト為セヨト、在位八

唐主香ヲ焚キ天ニ祝  
スル圖



年、改元スル者ニツ、曰ク、天成長興、内  
ニ色色ナリ、外ニ遊畋ナシ、宦官ニ任  
セス、内ノ藏庫ヲ廢メ、庶吏ヲ賞シ、賦  
蠲ヲ治ス、書ヲ知ラスト、雖モ、行フ所  
口暗ニ道ニ合ス、年穀屢豊ナリ、兵革  
用ユル罕ナリ、五代ヲ校ルニ粗小康  
タリ、子宋王立ツ、是ヲ閔帝ト為ス  
〔閔帝〕名ハ從厚、明宗ノ次子ナリ、位ニ即  
キ、治ヲ為スニ志アリ、然レモ其要ヲ  
知ラス、寛柔ニシテ断スル少シ、蜀ノ  
孟知祥、帝ト稱ス、唐ノ潞王、鳳翔ニ反

〔潞王〕此レ通鑑  
依テ路王ト  
稱ス、新五代史  
ニ、廢帝ト稱ス  
事ヲ用ユル者  
朱弘昭、馮贇等  
撥ラ鄰道ニ移  
ス其撥ノ畧ニ  
曰ク朱弘昭等  
元帝ノ疾亟ナ  
ルニ乘シ、長ヲ  
殺シ、幼ヲ立テ  
親權ヲ專制シ、  
骨肉ヲ別疎シ、  
藩垣ヲ動搖シ、  
今將サニ入テ  
君側ノ思ヲ清  
シトス、其力獨  
弁スル能ハス、  
願クハ鄰藩ニ  
乞テ以テ之ヲ  
齊ン

ス、兵ヲ率ケ長驅ノ洛陽ニ至ル、閔帝  
出奔ス、位ニ在テ應順ト改元ス、数月  
ノミ、潞王立ツ  
〔潞王〕名ハ從珂、本姓ハ王氏、明宗ノ養子  
ナリ、少シ明宗ニ從テ、征伐シ、功名アリ、  
衆心ヲ得タリ、事ヲ用ユル者、之ヲ  
忌ム、從珂、鳳翔ヲ鎮ス、閔帝、命ノ鎮ヲ  
河東ニ移ス、將佐以為ク、鎮ヲ離レ  
ハ、必ス全キ理ナシト、乃チ檄ヲ鄰道  
ニ移シ、兵ヲ起メ、入テ帝側ヲ清ム、從  
珂、陝ニ至ル、諸軍皆迎降ス、洛ニ至ル、

入テ遣シ、人ハ  
衛州ノ刺史王  
弘贇カ子、鑿  
ヲ移ス、通鑑ニ  
テ天ノ敬塘ヲ  
使ト為ス、節度

宰相馮道等、百官班迎シ、遂ニ位ニ即  
ク、人ヲ遣シ、閔帝ヲ衛州ニ弒セシム  
○蜀主孟知祥歿ス、子昶立ツ ○夏州  
ノ李彝超卒ス、兄彝殷之ニ代ル ○閩  
人、其王璘ヲ殺シ、其子繼鵬ヲ立ツ、名  
ヲ昶ト更ム ○唐主、初シ河東節度使  
石敬瑭ト素ヨリ相悦ヒス、唐主立ツ、  
敬瑭、已テ得テ入朝ス、尋テ鎮ニ歸ル、  
陰ニ自全ノ計ヲ為ス、唐主、之ヲ移ス、  
遂ニ反ス、撥テ契丹ニ求ム、契丹唐兵  
ヲ敗リ、敬瑭ヲ立テ、晋帝ト為シ、兵

石敬瑭入朝スル圖



ヲ引テ洛陽ニ向フ、唐主、自ラ焚死ス、  
 在位三年ナラス、改元スル者一ツ、曰  
 久、清泰、唐、莊宗ヨリ是ニ至ル、四主、凡  
 テ一十四年  
 ○晋石敬瑭、河東ノ節度使ト為リ、晋  
 國、遂ニ晋ト号  
 シ、沐ニ都ス  
 高祖皇帝「姓ハ石氏、名敬瑭、沙陀ノ人、唐  
 ノ明宗ノ婿ナリ、初メ從珂ト皆勇力  
 アツテ、善鬪ス、明宗ニ事ヘ、皆功アリ、  
 内相忌ム、從珂、帝ト称ス、敬瑭、河東ヨ  
 リ來朝ス、將佐皆勸テ之ヲ留ム、時ニ

晉立ス病後林  
瘖屢防ナリ

久ク病テ骨立ス、唐主、以テ屢ヲ為サ  
 ス、遂ニ鎮ニ帰ルヲ得タリ、公主洛陽  
 ニアリ、辭メ帰ルトキ、唐主、醉テ曰ク、  
 何メ且ク留ラスノ、遂ニ帰ル、石敬  
 瑭、之ヲ聞テ  
 反セント欲スルカト、敬瑭、之ヲ聞テ  
 益懼ル、尋テ命シ移メ鄆州ヲ鎮セシ  
 ム、敬瑭、命ヲ拒ム、唐主、兵ヲ發メ、之ヲ  
 討ス、桑維翰、敬瑭カ為メニ表ヲ草メ、  
 契丹ニ臣ト称ス、事ルニ父ノ礼ヲ以  
 テス、約スラク、事捷ハ地ヲ割ント、劉  
 知遠、以テ為シク太過ナリ、中國ノ患ヲ

○晉紀契丹謂  
主石敬瑭契丹  
千里來吾難三  
赴ク必ス成功  
アリ汝チカ器  
負識量ヲ觀ル  
ニ真ニ中原ノ  
主ナリ吾レ汝  
ヲ立テ、天チ汝  
ト敬塘、薛讓欲  
ト敬塘、薛讓欲  
タル數四、將吏復  
ク勸進ス、乃チ  
之ヲ許ス、契丹  
冊書ヲ作リ、敬  
塘ヲ命ノ、大晉  
皇帝ト為ス

為シト、敬塘、聽カス、表至ル、契丹主、大  
ニ喜フ、騎五万ヲ將テ來ル、唐ノ兵ト  
晋陽ニ戰テ、大ニ之ヲ敗ル、契丹主、敬  
塘ヲ立テ、帝ト為ス、國ヲ晋ト号ス、  
幽、薊、瀛、莫、琢、檀、順、新、媯、儒、武、雲、應、寰、朔  
蔚、十六州ヲ割テ、之ヲ与フ、〔涿〕即十  
今、檀、順、新、雲、蔚、ハ今ノ北平ニ屬ス、瀛、薊、  
涿、ハ河東ニ屬ス、武、應、胡、ハ山西ニ屬ス、  
莫、媯、儒、寰、ハ考ルナシ、姑ク之ヲ關ク東  
通、幽、州ニ後梁ノ均王紀注ニ、媯州ハ東  
南、幽州ニ在ルニ、百里ニ蓋シ、儒、武、  
東、南、山ニ在ルナリ、又通、鑿、州ハ、襄、清、  
ハ、晋、山、一、縣ヲ領ス、襄、州ハ、襄、清、  
一、縣ヲ契丹、晋主ヲ以テ、南ニ下ル、又

唐ノ兵ヲ破テ、潞州ニ至ル、契丹、北ニ  
還ル、晋主、引テ南ス、唐ノ將校、皆狀ヲ  
飛メ以テ迎フ、唐主、殂ス、晋主、入テ洛  
ニ都ス、已テニノホニ迂ル、○吳ノ徐  
知誥、帝ト稱ス、吳王、溥ヲ奉ノ讓、皇ト  
為ス、〔世紀ニ、吳ノ揚行密、梁ノ太祖、開  
四、主、凡テ三十七、初ノ徐温、知誥ニ命  
年、南唐、之ヲ篡ス、初ノ徐温、知誥ニ命  
ノ昇州ヲ治シ、繁富ヲ致ス、城市、府  
舎、甚盛ナリ、温、自ラ徙テ之ニ居ル、知  
誥、廣陵ニ入テ、吳ノ政ヲ輔ク、温卒ス、  
知誥、中書令ヲ以テ昇ヲ鎮ス、而ノ其

子ヲ留テ、吳ノ政ヲ輔ケシム、金陵城ヲ廣フス〔金陵城〕即チ昇州、楚ノ威王ヲ埋テ、之ヲ鎮ス、吳知誥ニ大元帥ヲ故ニ金陵ト曰フ、吳知誥ニ大元帥ヲ加ヘ、齊王ニ封ス、殊礼ヲ備フ、是ニ至テ、遂ニ吳ノ禪ヲ受ク、知誥ハ本ト徐州ノ李氏力子ナリ、自ラ唐ノ後ナリト謂テ、國ヲ唐ト号ス、尋テ姓ヲ李ト復シ、名ヲ昇ト更ム、是ヲ南唐ト為ス、

○契丹、國ヲ改テ、大梁ト号ス、○閩王曦、其主昶ヲ弒シ、而シテ自立ス〔曦〕昶ノ子、○吳越王錢元瓘卒ス、子弘佐嗣ク、○

名ヲ更ム、漢主、五代史、謂フ、龔名、利ヲ自ラ、胡僧、疾、ツテ、新龔、疾、ツテ、主龔、疾、ツテ、胡僧、疾、ツテ、謂フ、龔名、利ヲ自ラ、ス、ト、龔、名、利、ヲ、自、ラ、テ、之、龔、名、利、ヲ、自、ラ、テ、義、飛、龍、天、ニ、在、ル、ニ、取、ル、シ、ル、讀、テ、儼、ノ、如、シ、ク、

南漢主劉龔又名ヲ龔ト更ム、尋テ殂ス、子玢立ツ、○晋主、在位七歳ナラス、メ殂ス、改元スル者一ツ曰ク、天福、齊王立ツ、是ヲ出帝ト為ス、又少帝ト曰ク、

冲冠嶺著十八史略譯解卷八之上終

音

豆

十八日界議論本八

〇

